

当法人では若年性認知症に特化した専門のディサービス設置に関するモデル事業を展開した。本人支援のディサービスを中心に実施し、本人支援に付随する家族支援や地域で安心して暮らせるまちづくりについてもその重要性を認識し、若年性認知症への理解と普及・啓発に取り組んだ。報告書では、モデル事業で明らかになった専門ディサービスの必要性と課題及び今後の若年性認知症支援のあり方について報告する。

1. 目的

- ①若年性認知症専門のディサービス設置の必要性を明らかにする。
- ②利用者本人および家族の抱える問題を把握し、介護ストレスの軽減へ働きかける。
- ③若年性認知症への理解と普及・啓発。

2. 方法

- ①フリーサロンあしたばの若年性認知症専門ディサービスの実施。
- ②家族交流会、各種セミナーの実施。ボランティア活動の受け入れ。

3. 調査結果

- ①協力医による本人・家族面接の実施結果。
- ②各種アンケートの実施結果。

4. 事業のまとめ

- ①若年性認知症専門のディサービスの必要性とそのあり方。
- ②家族支援に関する課題。
- ③若年性認知症の地域への普及啓発の課題。

5. 提言

- ①若年性認知症専門ディサービスにおける支援のあり方。